

港 湾

南部管内の港湾は、重要港湾が1港(中城湾港[馬天地区、仲伊保地区、安座真地区])、地方港湾が8港(徳仁港、兼城港、粟国港、渡嘉敷港、座間味港、慶留間港、北大東港[北地区、西地区、江崎地区]、南大東港[北地区、西地区、亀池地区])、さらに避難港が1港(安護の浦港)の計10港があります。所管内の港湾事業は、5港で整備を進めています。

◆港湾事業実施箇所一覧表

番号	港湾名(市町村名)	箇所名	事業期間	総事業費	整備計画施設	掲載ページ
①	南大東港(南大東村)	亀池地区	平成20年度～令和10年度	25億円	岸壁(-5.5m)100m、泊地(-7.5m)4,439m ² 、港湾施設用地2,500m ² 、道路70m	P26
②	南大東港(南大東村)	西地区	令和元年度～令和13年度	29億円	岸壁(-5.5m)100m、港湾施設用地4,060m ² 、臨港道路100m	P26
③	北大東港(北大東村)	江崎地区	平成22年度～令和9年度	13億円	岸壁(-5.5m)100m、泊地(-7.5m)2,300m ² 、港湾施設用地1,500m ²	P26
④	北大東港(北大東村)	西地区	平成29年度～令和13年度	37億円	岸壁(-5.5m)100m、港湾施設用地2,600m ² 、臨港道路225m	P26
⑤	中城湾港(南城市)	馬天地区	平成19年度～令和10年度	23億円	防波堤(北)45m、波除堤140m、船揚場60m、物揚場20m、護岸304m	P27
⑥	中城湾港(南城市)	仲伊保地区	平成27年度～令和11年度	4.8億円	船揚場(-2.0m)新設50m、船揚場(-2.0m)改良40m、泊地浅瀬(-2.0m)2,000m ²	P27
⑦	粟国港(粟国村)	粟国地区	平成27年度～令和13年度	16億円	岸壁(-4.5m)87m、物揚場(-2.0m)45m、護岸101m、岸壁(-4.5m)撤去88m	P28
⑧	兼城港(久米島町)	兼城地区	令和3年度～令和8年度	8.3億円	物揚場(-2.0m)84m、船揚場改良16m、臨港道路48m	P28

◆港湾事業実施箇所図



「測量法に基づく国土地理院長承認(複製) R 7JHf 182」 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」

港 湾

みなみだいとう こう みなみだいとう そん

南大東港(南大東村) 〔亀池地区〕 〔西地区〕



(南大東港亀池地区)

【亀池地区】

事業概要

港 格：地方港湾
事業期間：平成20年度～令和10年度
総事業費(進捗率)：25億円(80%)
施設名：岸壁(-5.5m) 100m
泊地(-7.5m) 4,439㎡
港湾施設用地2,500㎡、道路 70m

【西地区】

事業概要

港 格：地方港湾
事業期間：令和元年度～令和13年度
総事業費(進捗率)：29億円(36%)
施設名：台船用岸壁(-3.0m) 15m
岸壁(-5.5m) 改良100m
港湾施設用地改良4,060㎡
臨港道路100m、泊地(-5.5)90㎡

本港には、北地区、西地区・南側に亀池地区の3地区の港湾施設があり、波浪等の状況によって利用地区を使い分けています。亀池地区は、西地区に次いで使用回数が多い地区ですが、岸壁は鋼管が波浪によって破損しており、また、港湾施設用地は手狭であることから荷役作業時には一般車両と作業関係車両が混在し効率が悪い上に危険な状態となっています。

また、天候が急変すると、波が港湾施設用地まで遡上して貨物が流される恐れがあることから、西地区にあるコンテナヤードへ貨物を移動させているのが現状です。

島の経済、生活を支える港湾として、係留時の安全性の確保、荷役作業の効率化を図るため、岸壁及び港湾施設用地の整備を進めています。

きた だい とう こう きた だい とう そん

北大東港(北大東村) 〔江崎地区〕 〔西地区〕



(北大東港江崎地区)

【江崎地区】

事業概要

港 格：地方港湾
事業期間：平成22年度～令和9年度
総事業費(進捗率)：13億円(77%)
施設名：岸壁(-5.5m) 100m
泊地(-7.5m) 2,300㎡
港湾施設用地 1,500㎡
臨港道路50m

【西地区】

事業概要

港 格：地方港湾
事業期間：平成29年度～令和13年度
総事業費(進捗率)：37億円(30%)
施設名：岸壁(-5.5m) 100m
港湾施設用地 2,600㎡
臨港道路 225m

本港には、北地区、西地区・南側に江崎地区の3地区の港湾施設があり、波浪等の状況によって利用地区を使い分けています。

江崎地区は、西地区に次いで使用回数が多い地区ですが、現在の岸壁は高さが低いために荷役効率が悪い上、波が港湾施設まで遡上して貨物が流される恐れもあることから、岸壁の高上げが必要です。加えて、現在の岸壁の形状は被災を受けやすい構造となっていることから、台風時の被災により生活物資の供給に遅れが生じる恐れがあるため、岸壁の形状を見直す必要があります。さらに、入港船舶に対して岸壁長が不足しているため、岸壁を延長するとともに港湾施設用地を整備する必要があります。

中城湾港(南城市) 【馬天地区】



事業概要

港	格：重要港湾
事業期間	：平成19年度～令和10年度
総事業費(進捗率)	：23億円(87%)
施設名	：防波堤(北)45m、波除堤140m 船揚場60m、護岸304m、物揚場20m

馬天地区は琉球王朝期より交易の拠点として栄え、現在では南部産石材の搬出、作業船の停泊地等を中心に利用されています。現在、港内の利便性及び景観や安全性、港湾施設と緑地機能の一体的利用を推進し港湾利用者の拡大と地域活性化を図るため整備を進めています。

中城湾港(南城市) 【仲伊保地区】



事業概要

港	格：重要港湾
事業期間	：平成27年度～令和11年度
総事業費(進捗率)	：4.8億円(13%)
施設名	：船揚場(-2.0m)改良L=40m 船揚場(-2.0m)新設L=50m 臨港道路L=140m、防波護岸L=137m 泊地(-2.0m)浚渫A=2,000㎡

仲伊保地区は、近隣に工業用地及び港湾関連用地が整備され、エネルギー系企業や海砂採取販売を行う企業が立地し、周辺地域の生活を支える港湾として機能しています。

現在、利用する漁船の大型化に伴い船揚場が不足しており、計画水深が-1.0mであることから大型漁船の船揚げ・降ろしは満潮時にしか行うことができず、利用者に不便を強いているため、船揚場、臨港道路、泊地浚渫及び防波護岸の整備を進めています。

あぐにこう あぐにそん
栗国港(栗国村)



事業概要

港	格：地方港湾
事業期間	：平成27年度～令和13年度
総事業費(進捗率)	：16億円(36%)
施設名	：岸壁(-4.5m)新設L=45m 取付護岸 L=21m 物揚場(-2.0m)改良L=45m 防波護岸(嵩上) L=96m 消波護岸 L=252m 岸壁(-4.5m)撤去L=88m

本港は、沖縄本島の西約60kmに位置する栗国島の南側にある地方拠点港湾であり、那覇港(泊ふ頭)との間に定期フェリーが1日1便就航しているほか、地元の遊漁船等が小型船だまりを利用しています。

本港は沖合の水深が急に深く、また防波堤の開口部が広がっているため、夏季を中心に南からのうねり等が直接港内に入入する構造となっています。また、進入したうねりが産業バースで反射し、港内で増幅している現象も確認されており、停泊中のフェリーの動揺による荷役障害、係船ロープの切断や繰り上げ出港等も余儀なくされています。

これらの課題を解決するため、既設産業バースおよび港内静穏度の悪化に影響があると考えられる箇所について反射率の低い消波構造等に改修し、フェリーバースと一体となる位置に産業バースを移設します。

かねぐすくこう くめ じまちょう
兼城港(久米島町)

【兼城地区】



事業概要

港	格：地方港湾
事業期間	：令和3年度～令和8年度
総事業費(進捗率)	：8.3億円(43%)
施設名	：物揚場(-2.0m) L=84m 船揚場改良 L=16m 臨港道路 L=48m

本港は、沖縄本島の西約100kmにある久米島の南西側に位置し、西側から兼城地区、花咲地区、嘉手苺地区の3地区の港湾施設があり、兼城地区は旅客拠点、花咲地区は産業拠点、嘉手苺地区は漁業拠点となっています。

兼城地区は、那覇港(泊埠頭)との間に定期貨客船が1日2往復就航しているほか、不定期船や地元の小型船等が利用しています。

1, 260mの防波堤に囲まれた静穏性が高いことから、久米島の南側における漁船、遊漁船の拠点港としての利用も多く、近年船舶の大型化や大型製氷施設完成に伴う利用者の増加により係留施設が不足していることから、小型船留まりの整備(物揚場の整備と船揚場の改良等)を行います。